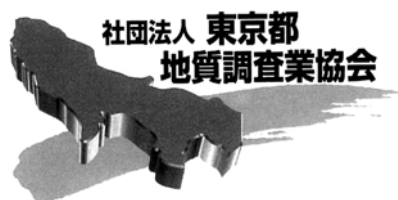


# 東地協ニュース 2010.5 第18号



## 東地協に思うこと

総務委員長 秋本 秀一

今年の4月より、総務委員長を拝命することになりました。東地協には、法人化になるまでの10年間、広報委員を務めておりましたので、概要は把握しているつもりですが、不慣れなこともあって、協会関係者の方々にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願い致します。

当協会は、昭和60年に関東地質調査業協会の東京支部として発足しましたが、社団法人化を目指して、会員一同心を一つにして頑張っていた頃を思い出します。私も広報委員として、技術ノートや要望書を携え、東京都の建設事務所や区役所へ協会のPRに精を出したものです。また、地質調査業の理解を深めていただくために東京都の職員や、小学校の職員に対し、地質講習会を行ったり、地質見学会、安全講習会等も開催するなど、公益事業活動に取り組んでまいりました。そのかいもあって、平成10年に社団法人として認可されました。その時のうれしさは今でも忘れられません。

平成18年に、公益法人制度改革3法が成立し、5年の移行期間（平成25年11月まで）に、公益法人認定をとるか、簡便な一般法人となるかを選択しなければならなくなりました。当協会の活動は社団法人化以来、東京都防災展をはじめとする公益的な活動を一貫して行ってきております。これまでの事業を継続するためにも、公益社団法人への移行が必要と思い、微力ながら、私も力を尽くしていく所存であります。また、会員各社におかれましては、協会活動にご理解をいただき、ぜひとも参加をしていただくよう、よろしくお願い致します。



## 経営講演会 (3月17日(総会后))

## ～ 講演会 雑感 ～

日 時 : H22.03.17 主催 東地協  
 場 所 : 測量地質健保会館 7階 大会議室  
 演 題 : 東京都の方向性(未来像)について  
 講 師 : 東京都議会議員 大塚たかあき氏  
 (都議会民主党、東地協顧問)

本題に入る前に、都政の近況報告がなされました。

- ① オリンピック招致活動の顛末：招致活動の総経費は148.5億円であった。これを一般財源(都民の税金)75.0億円、招致委員会資金(寄付金、補助金等)で、73.5億円を分担した…。
- ② 築地市場移転計画のその後：H25年に豊洲移転ということで推移しているが移転経費は1,260億円。民主党は反対で予算組換えを主張。自民・公明は賛成…。
- ③ 新銀行東京の最新情報：新銀行は、このままだと累積赤字が1,400億円に達しそうだ…などなど。



<ご講演風景>  
大塚先生

次いで本題。

東京都知事本局計画調整部が編集した冊子「『10年後の東京』への実行プログラム2010」に沿って、足早にはありましたが、分かりやすく説明していただきました。

ただし、この実行プログラム、初年度策定は2008年ですからすでに2年が経過しています。

以下は、この冊子を通読した筆者の独断と偏見です。

“何と凄いい指導力だろう”と身震いするほどでした。

まずは都知事の巻頭言

「…翻って我が国を見れば、経済危機に直面し、国政も戦略の無いまま迷走するばかりで、都民・国民に将来の展望を明示する有効な手立てを示しておりません。世界も

また混迷を深めており、深刻の度を増す地球環境問題一つをとっても、国際社会は進むべき道筋を未だ見出してはおりません。東京は、「都市の力」で日本を再生し、世界の未来をも切り拓くため、都市戦略である「10年後の東京」計画を羅針盤に、世界の範となる都市へと成熟を遂げる歩みを進めております……」(以上抜粋)

実行プログラムの第一弾は「10年後の東京」の姿を8つの到達目標という形で明確に都民に示しています。

## 「10年後の東京」への8つの目標

- 目標1：水と緑の回廊で包まれた美しいまち東京を復活させる。
- 目標2：三環状道路により東京が生まれ変わる。
- 目標3：世界で最も環境負荷の少ない都市を実現する。
- 目標4：災害に強い都市をつくり、首都東京の信用を高める。
- 目標5：安心できる少子高齢社会の都市モデルを創造する。
- 目標6：都市の魅力や産業力で東京のプレゼンスを確立する。
- 目標7：意欲ある誰もがチャレンジできる社会を創造する。
- 目標8：スポーツを通じて時代を担う子供たちに夢を与える。

次いでこれを着実かつ迅速に実施するためのアクションプラン。まず、各目標を平均3つ、計26の施策に分け、夫々の施策にたいして「10年後のあるべき姿」と、現在までの到達点、3年後の到達目標を明示しています……

残念ながら紙面が底をつきそうです。決して無駄にはならないと思いますので、一度目を通すことをお進めします。



このくらい明確化された目標を提示されると、与野党の区別無く目標を達成したくなりますよね。

事実、策定したのは自民党の都知事、講演をしていたのは民主党の都議でしたから。

今後、都税だけは、喜んで納めようと思いました。

(副会長 金道繁紀)

## 理事会

### 1. 21年11月18日 理事会

- (1) 会員の確保について
- (2) 防災協定(東京都)について
- (3) 顧問就任(東京都議会議員 大塚たかあき氏)について
- (4) 平成22年度事業計画仮承認について
- (5) 総務委員会関係
  - 1) 東地協ニュース No. 17 の発行 報告 (11月発行)
- (6) 広報委員会関係
  - 1) 委員の交替について
- (7) 技術委員会関係
  - 1) 委員の就任について
  - 2) 技術ノート No. 42「東京の下町」の発行 報告(11月)
  - 3) 「技術ノート」東京新聞からの取材の件(11月11日)
  - 4) 東京都2009地質見学会 報告(10月14日)
  - 5) 分析機関見学会 報告(10月23日)
  - 6) 22年度行事予定
    - ・ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(4月)
    - ・地質見学会及び講演会(5月)
- (8) 日本地球惑星科学連合2010年大会への後援について
- (9) 収支報告(9月, 10月)

### 2. 22年1月27日 理事会

- (1) 会員の確保について
- (2) 平成22年度事業計画および予算編成方針について
- (3) 第24回通常総会について
- (4) 東京都との防災協定について
- (5) 東地協ニュースのホームページ上での公開について
- (6) 総務委員会関係
  - 1) 特例民法法人の移行に関する説明会(11月27日)
- (7) 収支報告(11月, 12月)
- (8) 政策セミナー 報告(12月14日)
- (9) 新年広告の掲載について(建通新聞社)
- (10) 関東協会への行事補助申請(技術ノート)について
- (11) 地質リスク学会(全地連)の活動報告

### 3. 22年2月24日 理事会

- (1) 第24回通常総会について
- (2) 平成22年度事業計画および予算編成方針について
- (3) 日環協・関東支部環境セミナー要旨集への広告掲載について
- (4) 総務委員会関係
  - 1) 東地協ニュース No. 18 について
- (5) 広報委員会関係
  - 1) 広報PR活動について
  - 2) 防災協定について
- (6) 技術ノート No. 32「東京の酒」表の使用許可の件
- (7) 都議会民主政策調査会長就任(酒井大史氏)を祝う会 報告(2月10日)
- (8) 収支報告(1月)
- (9) 「独占禁止法ガイドブック」会員会社への配布の件

### 4. 22年3月17日 理事会

- (1) 第24回通常総会・講演会・懇親会について
- (2) 会員の退会について
  - 大成基礎設計(株) (3月末日付)
  - 株日さく 東京営業所 (3月末日付)
- (3) (社)日本環境測定分析協会関東支部・セミナー「講演要旨集」広告版下の件
- (4) 地質リスク学会「地質リスクマネジメント事例研究発表会」の発表募集について
- (5) 技術委員会関係
  - 1) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会の日程について
  - 2) 東京都2010講演会・地質見学会の日程及び講師について
- (6) (社)全地連の千葉市・CPD運営団体への応募の件
- (7) 収支報告(2月)

## 5. 22年3月17日 理事会(総会后)

- (1) 第24回通常総会・役員改選 新役員による会長、副会長の互選

会長 早田守廣 (大和探査技術(株))

副会長 金道繁紀 ((株)地盤試験所)

- (2) 各委員会委員長の決定

総務委員長 秋本秀一 (興亜開発(株))

広報委員長 神馬 誠 (基礎地盤コンサルタンツ(株))

技術委員長 西原 聡 (中央開発(株))

## 6. 22年4月19日 理事会

- (1) 平成21年度収支決算報告について  
 (2) 平成22年度収支予算の一部修正案について  
 (3) 第25回通常総会について  
 (4) 平成22年度東京都予算要望に対する回答(民主党)について

- (5) (社)日本環境測定分析協会関東支部・セミナー「講演要旨集」広告版下(案)について

- (6) 各委員会の委員委嘱について

- (7) 総務委員会関係

- 1) 東地協ニュース No. 18 について

- (8) 広報委員会関係

- 1) 22年度広報PR活動の予定について

- 2) 東京都との防災協定締結について

- (9) 技術委員会関係

- 1) ノート部会

- ・ 技術ノート No. 43 のテーマについて

- 2) 講演部会

- ・ ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会 報告

- ・ 東京都2010講演会・地質見学会について

- 3) 環境部会

- ・ 委員の補充について

西村 修一氏 (中央開発(株))

- ・ 土壌地下水汚染調査実務者勉強会 (7月予定)

- ・ 日環協セミナー要旨集の広告版下案の検討

- (10) 東京都「江戸東京たてもの園」展示について

- (11) 公益法人化について

平成22年~23年度

## 社団法人東京都地質調査業協会 委員会メンバー

## 総務委員会 5名

委員長	秋本 秀一	(興亜開発(株))
副委員長	鈴木 明夫	(株)セントラル技研
委員	赤澤 元重	(川崎地質(株))
〃	津川 明宏	(株)大東地質
〃	藍 隆行	(応用地質(株))

## 技術委員会 15名

委員長	西原 聡	(中央開発(株))
副委員長	菊地 大郎	(株)ダイエーコンサルタンツ
〃	糸賀 浩之	(川崎地質(株))
〃	金井 亮	(日本物理探査(株))
委員	細根 清治	(株)東建ジオテック
〃	堀ノ内 央	(応用地質(株))
〃	太田 智之	(株)地盤調査事務所
〃	加藤 俊昭	(千葉エンジニアリング(株))
( 〃	安江 徹也	( 〃 )
〃	川井 康右	(川崎地質(株))
〃	諏訪 朝夫	(基礎地盤コンサルタンツ(株))
〃	寺島 芳明	(大和探査技術(株))
〃	五月女 寛	(川崎地質(株))
〃	百瀬 忍	(基礎地盤コンサルタンツ(株))
〃	樋口 靖	(株)地盤試験所
〃	西村 修一	(中央開発(株))

## 広報委員会 12名

委員長	神馬 誠	(基礎地盤コンサルタンツ(株))
副委員長	前山 久和	(株)ダイヤコンサルタント
〃	黒金 牧子	(株)ダイエーコンサルタンツ
〃	大塚 信二	(日本物理探査(株))
〃	阿部 信	(株)東建ジオテック
委員	関根 一民	(株)地盤調査事務所
〃	和賀 憲洋	(中央開発(株))
〃	番場 弘和	(千葉エンジニアリング(株))
〃	吉田 幸男	(応用地質(株))
〃	吉野 新一	(川崎地質(株))
〃	山口真佐爾	(大和探査技術(株))
〃	大内 由樹	(協和地下開発(株))

## トピックス(協会行事紹介)

### ボーリング安全衛生特別教育講習会 (4月17日,18日)

平成22年4月17日(土)、18日(日)の2日間、東京都品川区(東邦地下工機株式会社)にてボーリングマシン安全衛生特別教育講習会を実施した。講師は当協会、片山浩明理事ほか東邦地下工機殿の職員の方2名にお願いした。

17日(土)は4月としては珍しい都心に雪が降り、参加者の集まりも懸念されたが予定時刻には30名全員がそろい、早田会長の挨拶後、定刻通り学科講習を開始した。

講義内容は午前、ボーリングマシンに関する知識(基礎知識・構造; 運転及び点検・整備)、午後は、ボーリングマシンの運転に必要な一般事項に関する知識(施行・力学と電気)および関係法令・災害事例の講義を行った。

18(日)は朝から晴れとなり、講義会場から500m程度離れた東邦地下工機殿の倉庫に隣接した駐車場でボーリングマシンの実技講習を行った。現地にはボーリングマシン3台を設置し、実際にロッドの上げ下ろしやマシン操作時の潜んだ危険性等について実践的な実技講習が行われた。実技講習終了後、参加者30名全員に修了書の授与が行われ、2日間に渡った講習は無事終了した。

都協会としては初めての開催であったが参加人数30名と会場を満席にする参加で、ボーリングマシン安全衛生特別教育への理解の高さが伺えた。今後も継続して開催していきたいと考えている。

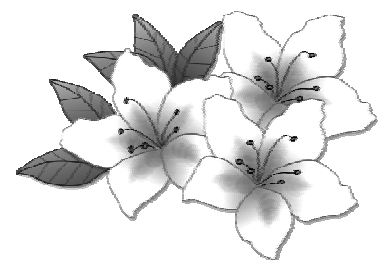
(技術委員 西原 聡・菊地大郎)



第1日目 安全教育の講義



第2日目 ボーリング実地教育



## 会員コーナー

### 消え行く言語と私

世界には約 7000 もの言語があると言われ、その他にもコンピューターへの言語などさまざまな言語が存在します。一方で多くの言語が消滅の危機に瀕しているとも言われています。

私が親しんでいる言語の一つを紹介いたします。それはモールス信号です。

モールス信号は今から 160 年ほど前に考案され、一時は盛んに使われましたが、現在では通信技術の発達によりプロの世界では一部の漁業無線を除いて全廃され、現在ではアマチュア無線でしか利用されなくなりました。

私は今から 25 年前の中学生の頃に中学校に無線部があった関係でモールス信号の魅力に取り付かれて資格を取得しました。以来、モールス信号での通信を楽しんでおります。

モールス符号にはアルファベットの欧文符号のほかにも日本語を直接表現できる和文の符号もあります。英語を話すのは苦手でもモールス信号で外国の無線局と話ができたりします。ただ日本ではアマチュア無線を開設している中で実際にモールス信号で交信できる人は 5% もいないだろうと言われていています。世界的にも資格試験の際にモールス通信の試験を廃止する国が増えていて、まさに消滅言語となりつつあります。

携帯電話やメールが当たり前の世の中で何を今更とよく言われるのですが、モールス信号で交信していると時に相手の心の中が読める時もあり、仲間内では「以心伝心」ならぬ「以心電信」というものがあるものだとよく言い合っています。また符合には笑い声を表すものもあり、慣れてくると符合の打ち方で大笑いをしているかニヤニヤ笑っているかもわかったりするものなのです。

こんな私が、このたび協会の総務委員を拝命することになりました。皆様、今後ともよろしく願いたします。

(総務委員 藍 隆行)

## 行事日程

日程	行事名・内容等
5月14日(金)	<b>東京都 2010 講演会</b> 会場：測量地質健保会館 演題：「日本列島の成り立ちからみた関東平野の地震防災」 講師：高橋雅紀氏（産業技術総合研究所）
5月15日(土)	<b>東京都 2010 地質見学会</b> 場 所：秩父盆地～長瀬周辺 テーマ：「日本海拡大時期に形成された半地溝を巡る」 講 師：高橋雅紀氏（産業技術総合研究所）
5月21日(金)	<b>第 25 回通常総会</b> 会 場：測量地質健保会館
5月21日(金)	<b>講演会・懇親会</b> 会 場：測量地質健保会館 講演会：「高支持力杭の現状と課題」 講 師：桑原文夫氏（日本工業大学 工学部教授） ※ 当協会理事 懇親会会場：銀座ライオン池袋西口店(17時～)
	<b>土壌地下水汚染調査実務者講習会</b> (予定)
	<b>地質調査技士資格検定試験</b> (7月10日(土) 全地連)
	<b>防災展（東京都主催）</b> (8月予定)







